古くから自然と文化が豊かな立地

林業試験場が開設されたころ、ここは目黒不動の門前町の先に広がる田園地帯であり、草深い林にキツネやノウサギがすみつく自然豊かな場所でした。都心方面から林業試験場へ行くときには、目黒駅から行人坂を下って目黒川の太鼓橋を渡り、目黒不動の門前町に沿って進み、林業試験場の正門（今の東門）に至りました。

『江戸自慢三十六興 目黒行人坂富士』
（1864（元治元）年、広重，豊国、
国立国会図書館蔵）

『江戸切絵図目黒白金辺図』（部分）
（1849-1862 刊、国立国会図書館蔵）

林試の森公園の名前の由来は「林業試験場」

１９００年、当時の農商務省林野整理局は、北区西ヶ原にあった「樹木試験場」をこの地に移転し「目黒試験苗圃」を開設しました。１９０５年に「林業試験所」、１９１０年には林試の森公園の名前の由来となる「林業試験場」に改称されました。

『目黒山林局林業試験所案内』「山林局林業試験所構内之図」（1907（明治 40）年、農商務省山林局、国立国会図書館蔵）をもとに作成

林試の森公園の いま・むかし

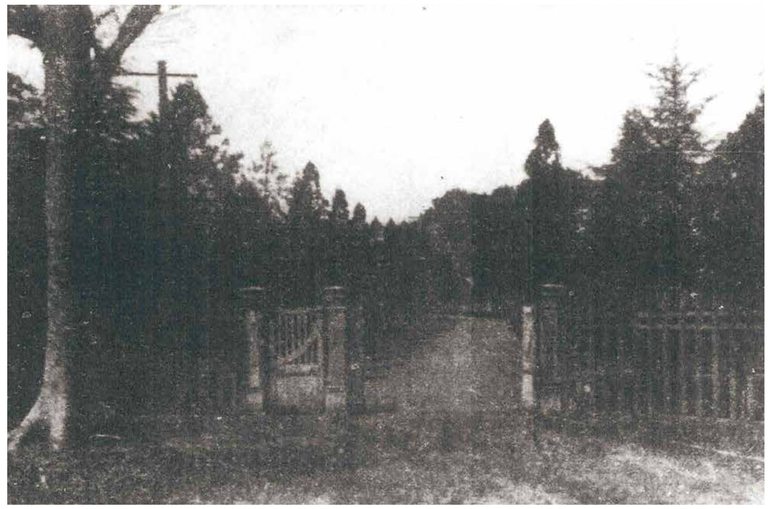
1907(明治 40)年頃、林業試験所時代の欧州産唐檜林

1907(明治 40)年頃、林業試験所時代のヒマラヤスギ並木

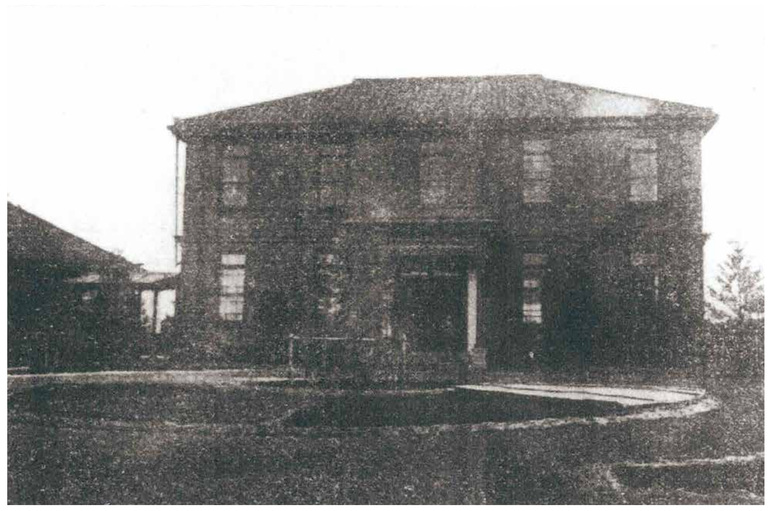
現在の東門付近(2023 年撮影) ←

現在の芝生広場付近(2023 年撮影) ←

現在の冒険広場付近(2023 年撮影) ←



1907(明治 40)年頃、林業試験所時代の正門



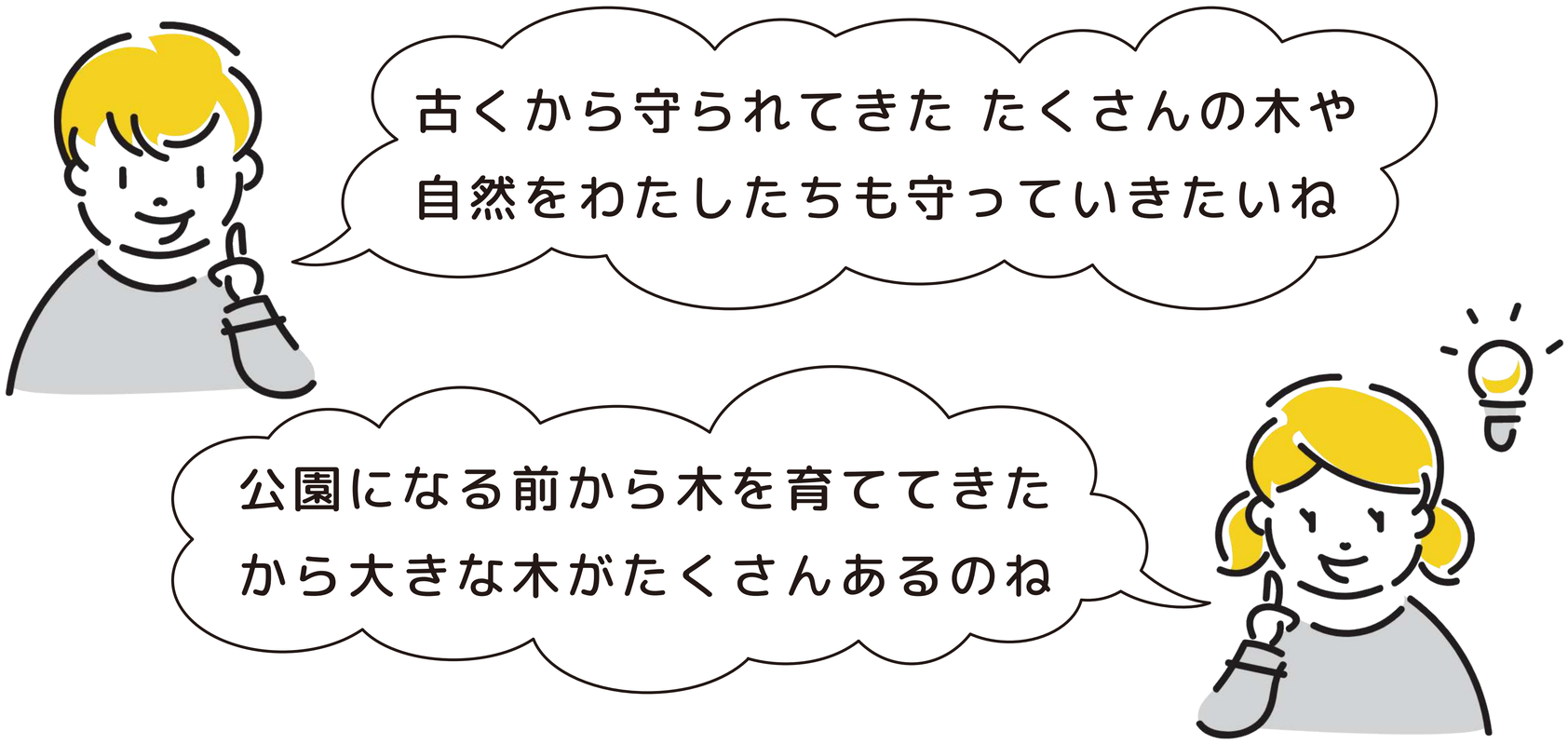
1907(明治 40)年頃、林業試験所時代の標本陳列室

1907(明治 40)年頃、林業試験所時代の木材工藝試験室

白黒写真はすべて『目黒山林局林業試験所案内』(1907(明治40)年、農商務省山林局、国立国会図書館蔵)より

林業試験場から受け継いだ珍しい樹木

林試の森公園には林業試験場の時代に国内外から集められた数多くの珍しい樹木があります。



林試の森公園の珍しい樹木案内図